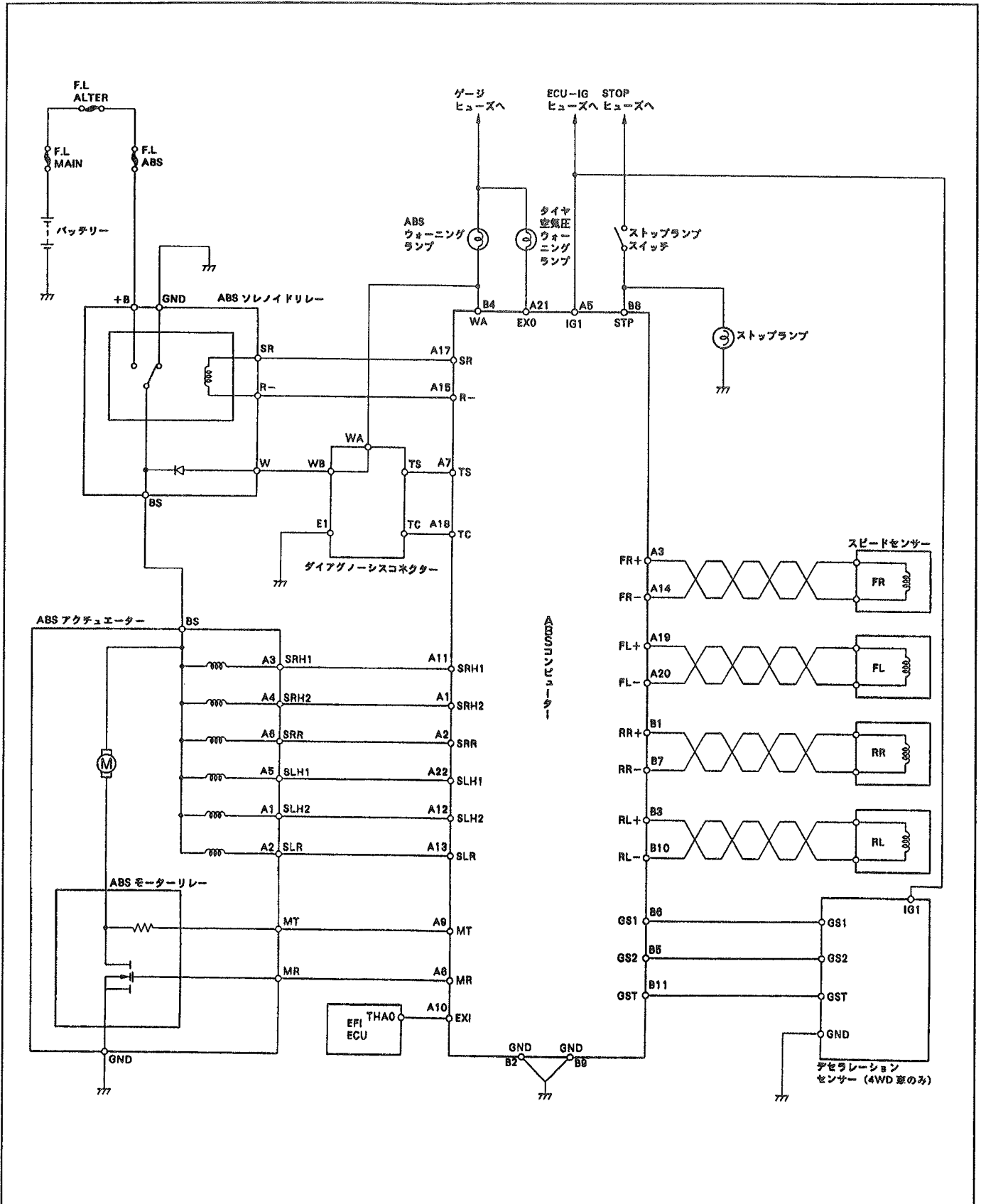


回路図



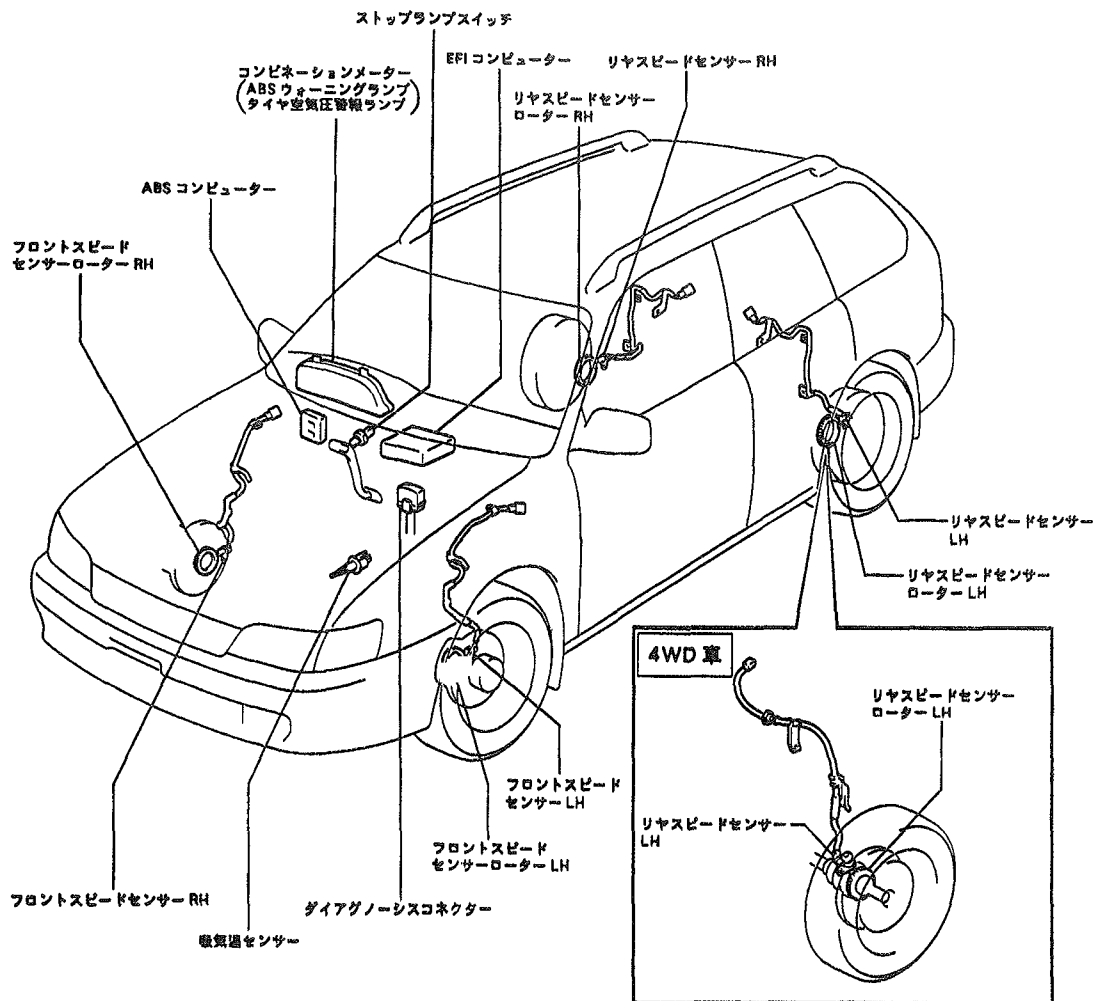
タイヤ空気圧警報システム

準備品

計器

トヨタエレクトリカルテスター 09082-00012	70029	コンピューターおよびセンサー点検用
ミニテストリード 09083-00060	70240	コンピューターおよびセンサー点検用
ダイアグノーシスチェックワイヤ 09843-18020	70258	ダイアグノーシスコード点検用

部品配置図



回路図

(「アンチロックブレーキシステム (ABS)」 - 「回路図」 参照)

トラブルシューティング

ダイアグノーシス点検

1 タイヤ空気圧警報ランプ点検

- (1) イグニッションスイッチを ON にする。

基準 約3秒間タイヤ空気圧警報ランプが点灯し、その後消灯する

2 ダイアグノーシス点検

- (1) ダイアグノーシスコネクタの 11(T_c) ↔ 3(E₁) 端子間を短絡する。

注意 ・コネクタの短絡位置を間違えると故障の原因となるため絶対に間違えない。

・車両停止状態で行う。

- (2) イグニッションスイッチを ON にして、タイヤ空気圧警報ランプの点滅回数を読み取る。

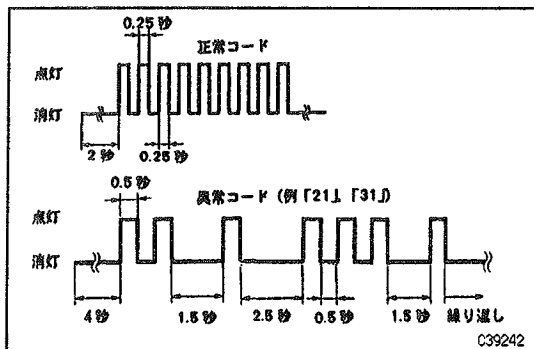
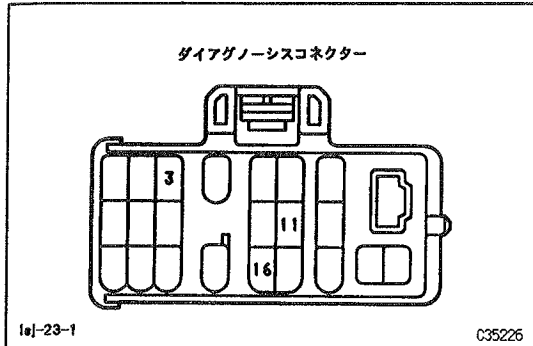
〈参考〉 ・正常な場合は 0.25 秒点灯, 0.25 秒消灯を繰り返す。

・異常コードが1つの場合は4秒の間隔において、同一コードを出力し、複数のコードを出力する場合は、異なるコードを2.5秒の間隔で出力し、一巡すると4秒の間隔において再度出力する。

・複数のコードを出力する場合は、コード番号の小さいものから順に出力する。

- (3) ダイアグノーシスコネクタの 11(T_c) ↔ 3(E₁) 端子間を開放する。

注意 異常がある場合は、修理後ダイアグノーシスコードの記憶を消去する。



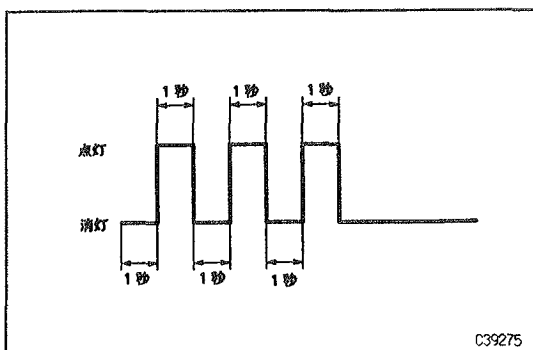
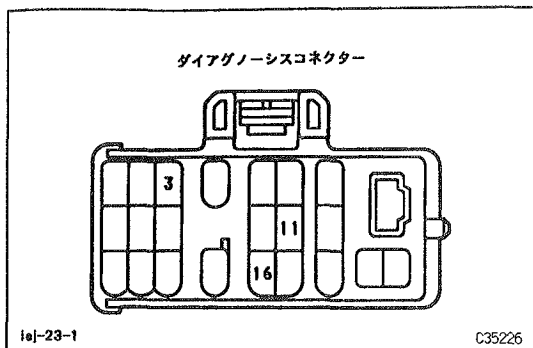
3 ダイアグノーシスコード一覧表

【注意】 点検部位の各項目を点検しても異常が認められない場合は、コンピューターを点検する。

コード 番号	診 断 系 統 〔端 子 記 号〕	診 断 内 容	点 検 部 位
		① 診断条件 ② 異常状態 ③ 異常期間	
21	吸気温センサー信号系統 〔THA, E2〕	① 車速 20km/h 以上かつ STP OFF ② EFI との通信異常 ③ 22 秒以上 ① 車速 20km/h 以上かつ STP OFF ② 吸気温センサー回路の短絡または断線 ③ 10 秒以上	・ワイヤハーネスおよびコネクター （吸気温センサー系統） ・吸気温センサー ・エンジンコントロールコンピューター
31	スピードセンサー系信号異常 〔FR+, FR-, FL+, FL- RR+, RR-, RL+, RL-〕	① 車速 10km/h 以上で走行中 ② スピードセンサーからパルス信号がとだえた ③ 15 秒以上 ① 車速 15km/h 以上で走行中 ② スピードセンサーからのパルス信号の瞬間的な欠落 ③ 7 回以上 ① 車速 20km/h 以上で走行中 ② スピードセンサーからのパルス信号の周期に異常信号が連続して発生 ③ 5 秒間に 75 回以上 ① イグニッションスイッチ ON 中 ② スピードセンサー系統断線, ショート ③ 0.6 秒以上	・各スピードセンサー系ワイヤハーネス, コネクター ・各スピードセンサー ・各スピードセンサーローター ・ABS コンピューター
42	ストップランプスイッチ ON 故障〔STP〕	① 車速 30km/h 以上 ③ 累積 10 分以上	・ストップランプワイヤハーネス
49	ストップランプスイッチ断線〔STP〕	① コンピューターの STP 端子が 1.2~1.8V の電圧値（電源電圧 10~14V） ③ 0.3 秒以上	・ストップランプワイヤハーネス
常灯	コンピューター異常	② コンピューター内部異常	・ABS コンピューター

4 ダイアグノーシスコード消去

（「アンチロックブレーキシステム（ABS）」－「トラブルシューティング」参照）



機能点検

タイヤ空気圧警報ランプ点検

1 タイヤ空気圧警報ランプ点検

(1) イグニッションスイッチを ON にする。

基準 約3秒間警報ランプが点灯し、その後消灯する。

2 スピードセンサー機能点検

(「アンチロックブレーキシステム (ABS)」 - 「スピードセンサーテストモード」参照)

3 吸気温センサー点検

(「4A-FE エンジン」 - 「EFI システム」 - 「吸気温センサー」参照)

4 タイヤホイール初期設定

注意 タイヤ・ホイールを交換した際、必ず行う。

- (1) タイヤ4輪を指定空気圧に調整する。
- (2) イグニッションスイッチを ON にして、車両停止状態で 16(Ts)
↔ 3(E1) 端子間を短絡し、ブレーキペダルを 30 秒以上踏み込む。
- (3) タイヤ空気圧警報ランプが3回点滅したことを確認する。

注意 ・順番を間違えない。

・途中で操作を誤った場合は最初からやり直す。

単体点検

ストップランプスイッチ

(「アンチロックブレーキシステム (ABS)」 - 「単体点検」

- 「ストップランプスイッチ」参照)

タイヤ空気圧警報コンピューター

(「アンチロックブレーキシステム (ABS)」 - 「単体点検」

- 「ABS コンピューター」参照)